

4. ごみ (G 3 0) について

問 1 5 ごみ出しのルール (分別・時間など) を守っていますか。

(あてはまるものを 1 つ選んでください。)

1 常にルールを気にしながら守っている	1371	85.2%
2 たまにルールを守らず、だしてしまうことがある	213	13.2%
3 ルールは少し気にするが、面倒なのであまり守らない	14	0.9%
4 ルールを特に気にせず、ごみを出している	6	0.4%
無回答	5	0.3%

問 1 6 港北区全域で、新たにごみの分別収集が拡大されますが、その開始時期及び分別方法について、あなたは、ご存知ですか。

(あてはまるものを 1 つ選んでください。)

1 分別拡大が始まる時期も知っていて、分別方法についても知っている	592	36.8%
2 分別拡大が始まる時期は知っているが、分別方法については知らない	327	20.3%
3 分別拡大が行われることは知っているが、始まる時期や分別方法について知らない	482	30.0%
4 分別拡大が行われること自体、知らない	193	12.0%
無回答	15	0.9%

問 1 7 あなたはこの分別拡大 (5 分別 7 品目 10 分別 15 品目) についてどの程度出来るとお思いますか。(あてはまるものを 1 つ選んでください。)

1 かなりできそう	367	22.8%
2 まあまあできそう	952	59.2%
3 あまりできそうにない	228	14.2%
4 できそうにない	36	2.2%
無回答	26	1.6%

問 15 ~ 17 では、ごみの問題、特に分別収集の拡大についての質問をした。

ごみ出しのルール (分別や時間など) を「常にルールを守っている」が 85.2 % と圧倒的に多く、「たまにルールを守らないことがある」が 13.2 % で、「守らない」との答えは 1 % 台となっており、ステーション方式によるごみの収集が定着しているようであった。

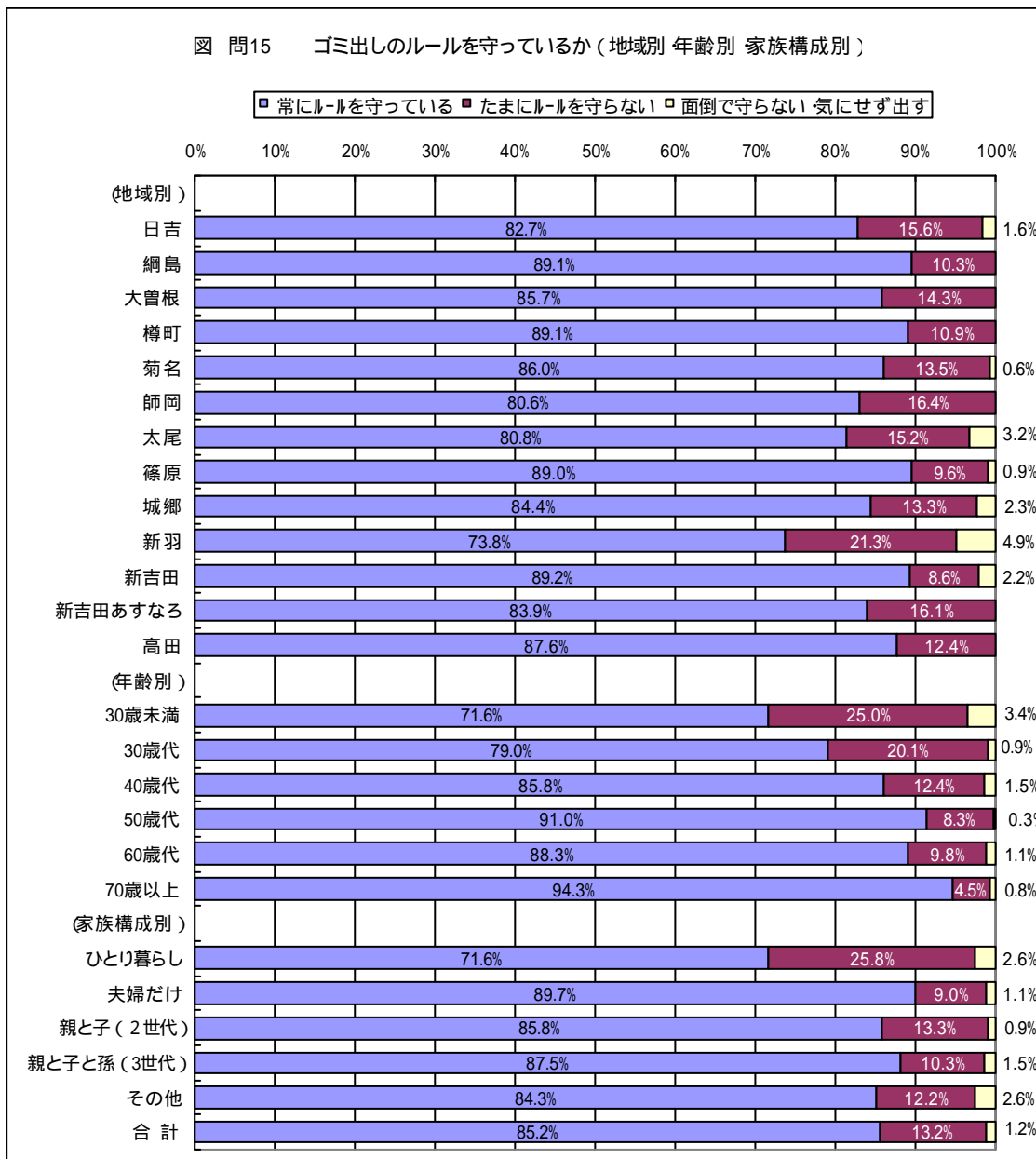
ごみの分別収集が拡大されることについての質問に対しては、「時期も分別方法も知っている」が 36.8 % で約 3 分の 1 を超えていた。しかし、「分別拡大は知っているが、時期や分別方法は知らない」が 3 割であり、「分別拡大自体、知らない」が 12.0 % で、これらの回答を「知らない」と受け止めると 42.0 % と 4 割を越えていた。「時期は知っているが分別方法は知らない」が 20.3 % であり、「分別方法を知らない」人が 62.3 % で 6 割を超え多数であった。

さらに、分別を「10 分別 15 品目」に拡大することについて出来るかどうか聞いた。「ま

「まあできそう」が 59.2 %、「かなりできそう」が 22.8 %、合わせて「できそう」という答えが 82 %となっており、5分の4を超えていた。「あまり」を含めて「できそうにない」との答えは 16.4 %にとどまっていた。

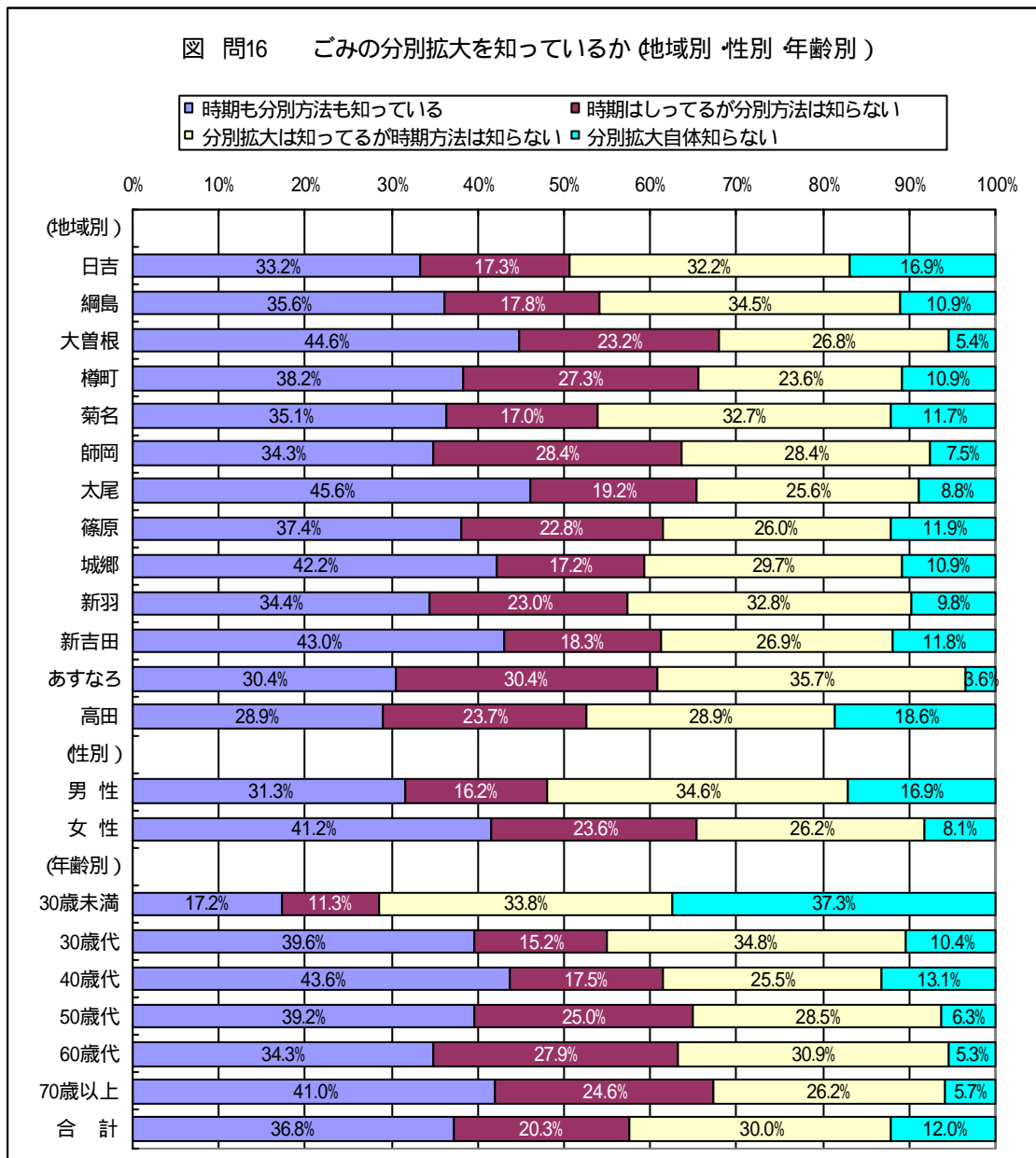
問 15 では、ごみ出しのルールを守っている人が圧倒的に多かったが、地域別に見ると新羽地区で「たまに守らないことがある」が2割を超えて多かったもののほか、地域別な差は見られなかった。

回答者の属性で見ると、「たまに守らないことがある」が、年齢別で「30歳未満」と「30歳代」でそれぞれ 25 %と 20 %で、家族構成別で「ひとり暮らし」が 25.8 %と多かったほか、あまり変化は見られなかった。



問16で「分別収集の拡大」についての認知度を質問して、「時期も分別方法も知っている」が36.8%で3分の1を超えていたが、地域別に見るといくつかの特徴が見られた。「知っている」割合が高い順では、太尾、大曽根、新吉田、城郷地区でそれぞれ4割を超えていた。これに対して、高田、新吉田あすなる地区ではそれぞれ28.9%と30.4%で低くなっており、高田地区では「分別拡大自体、知らない」、新吉田あすなる地区では「時期と分別方法を知らない」が平均を上回って多かった。

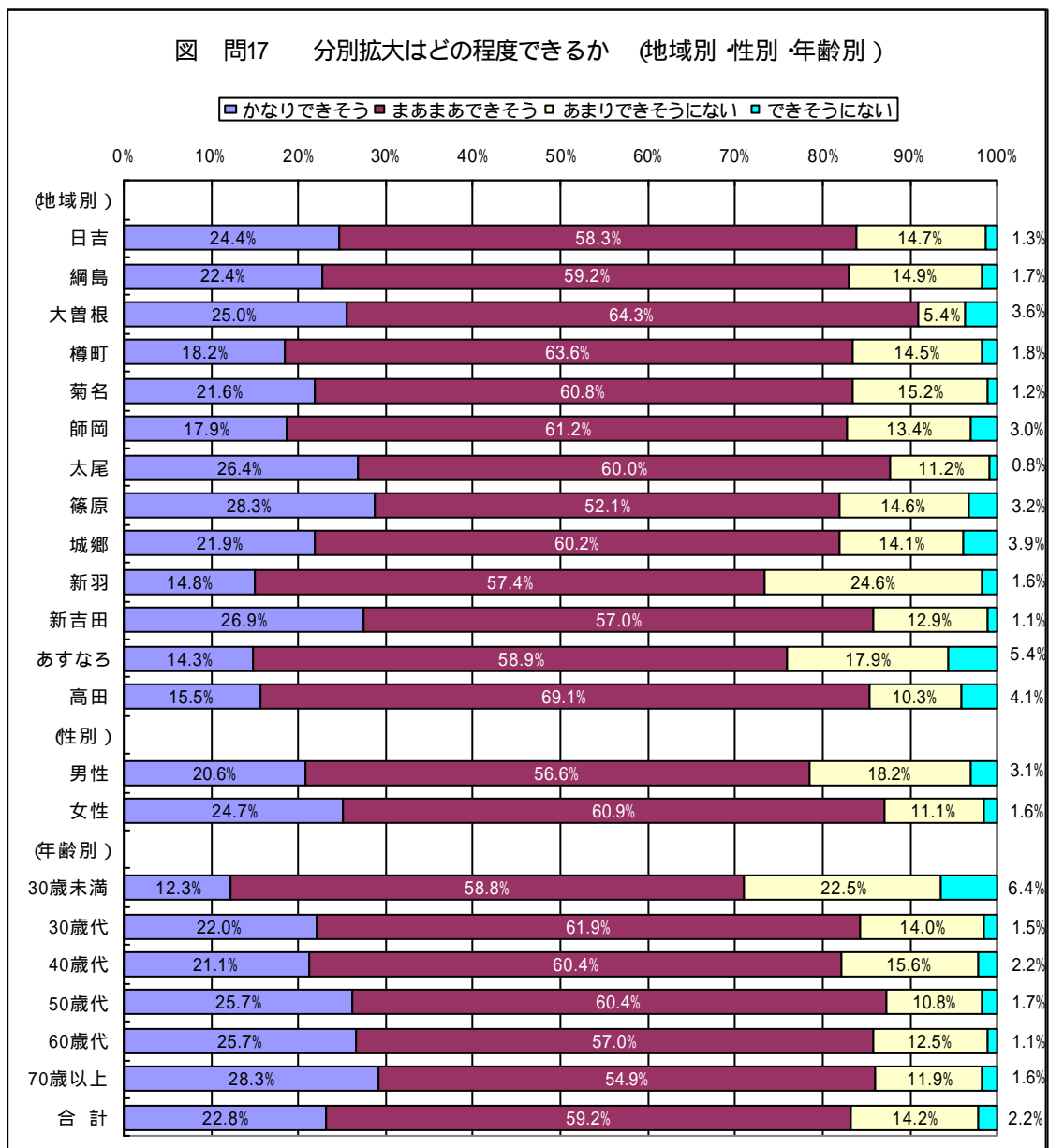
回答者の属性で見ると、性別では、女性で「時期も分別方法も知っている」という答えが男性を10ポイント上回っており、年齢別では、「40歳代」以上の人の認知度が高く、「30歳未満」では「分別拡大自体、知らない」が37.3%と極めて高かった。このことは、「ひとり暮らし」、「学生」で認知度が低くなっている傾向と似通ったものとなっていた。



問 17 で、「分別拡大ができるか」を質問し、8 割以上が「かなり」「まあまあ」を合わせて「できそう」と答えていたが、地域別に見ると差が見られた。大曽根、太尾地区では「できそう」が9 割前後と高く、篠原地区では「かなりできそう」が多く見られた。逆に、新羽地区で「あまりできそうにない」が平均を 10 ポイント上回っていたことのほか、あまり大きな変化は見られない。

回答者の属性では、「できそう」という答えが女性は男性を 8 ポイント上回り、「30 歳未満」で「できそうにない」が平均を 12 ポイント以上上回っていたことなどのほか、あまり変化は見られなかった。

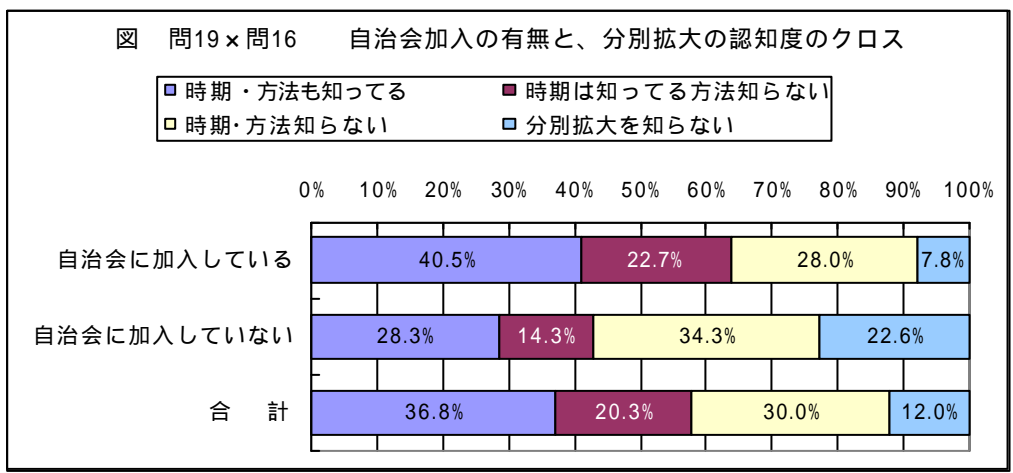
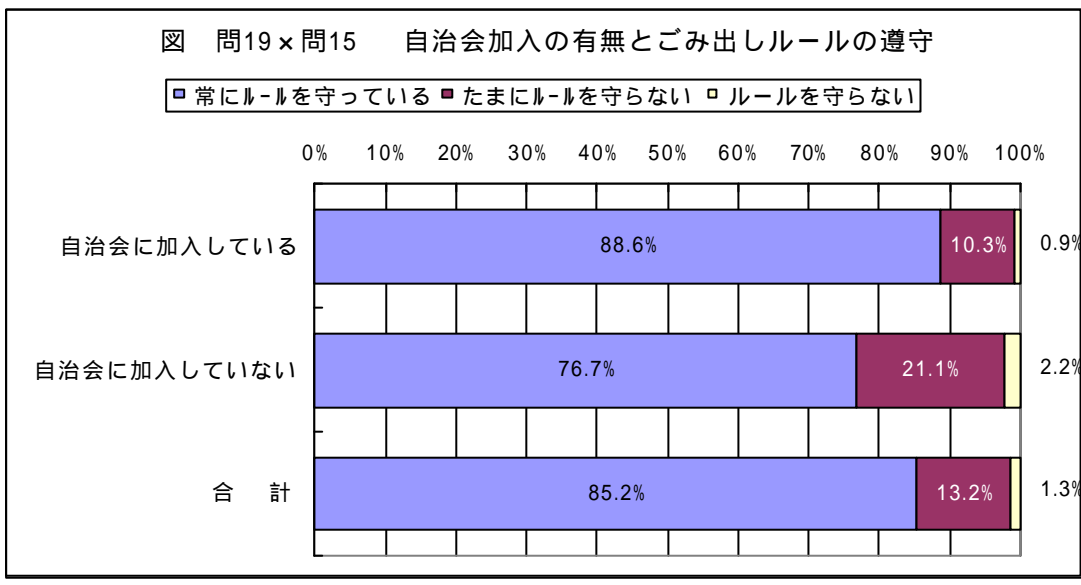
平成 15 年 10 月から新横浜地区で、10 分別 15 品目の分別排出を試行的に実践している。その結果、家庭ごみの量は、約 30 %減少していた。この実績と、「できそう」と答えた人の割合が 8 割と多かったことから、全市一斉実施の結果が期待されている。

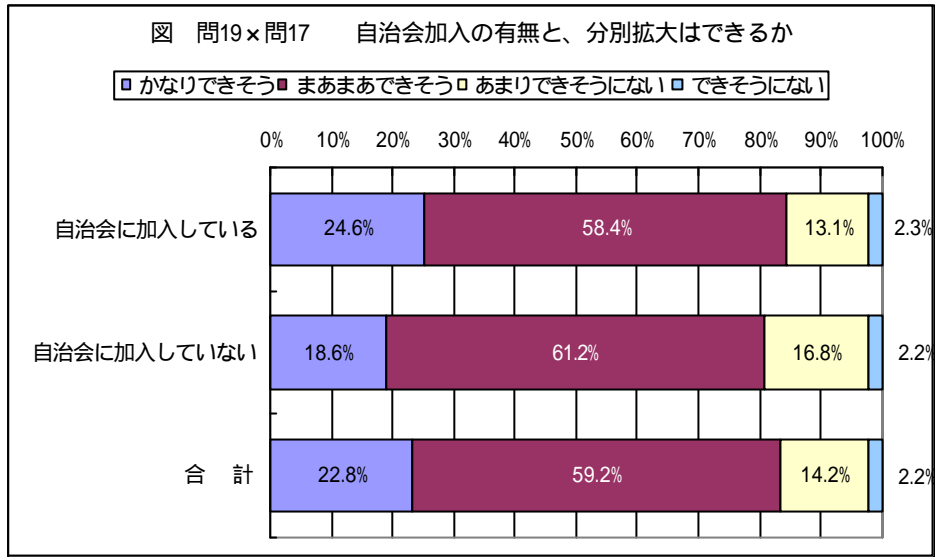


問15の「ごみ出しのルールを守っているか」と、問19の「自治会・町内会への加入の有無」をクロス集計したところ、「常にルールを守っている」人は「自治会・町内会に加入している」人の方が「加入していない」人より10ポイントも高くなっていた。

同じく、問16の「分別拡大を知っているか」と自治会・町内会への加入のクロス集計をした結果によると、「時期も方法も知っている」人は、自治会町内会の加入者の方が加入していない人より12ポイントも高くなっており、分別拡大の認知度には大きな差が見られた。

同様に、問17の「分別拡大はできそうか」と自治会・町内会への加入のクロスによると、これについては自治会・町内会への加入の有無による変化は「かなりできそう」「まあできそう」を合わせて「できそう」は加入者がわずか5ポイント上回っているだけで、前の2問に比べてほとんど差が見られなかった。この結果を見る限り、分別拡大に関する意識の差は、自治会・町内会への加入・未加入では、あまり見られなかった。





問15の「ごみ出しのルールを守っているか」と、問17の「分別拡大がどの程度できるか」をクロス集計してみた。

ごみ出しについて「常にルールを守っている」人は、「かなりできそう」が全体の4分の1を占め、「まあまあできそう」を含めて「できそう」と答えた人が84.8%と極めて高くなっていた。「たまにルールを守らない」人は、「かなりできそう」が8.5%と1割に満たなく、「あまりできそうにない」、「できそうにない」と答えた人の割合が合計で28.2%と多くなっていた。「面倒であまり守らない」「ルールを気にしない」と答えた人はごく少数であったが、「できそうにない」が7割に達しており、かなり大きな差として表れていた。

